

(別紙様式 2)

学生等評価の改善状況報告書

平成 27 年 3 月 24 日

評価会議議長 殿

農学研究科長

静岡大学における学生等による評価に関する基本方針に基づき、平成 24 年度に実施された学生等による評価結果に係る改善事項について、平成 26 年度の改善状況を次のとおり報告します。

改善事項
学部生の国際的視野（異分野理解・グローバルな問題の理解）
改善計画
企業が求める国際的視野の中身がわからないので、それを調査した上で、必要に応じて、全学教育科目を含めて、国際的視野を涵養できる科目を履修できる設定を検討する。本件は、農学部内だけでは対処しきれないと思われる。
実施時期（予定を含む）：平成 28 年度カリキュラム
改善状況
学部改組によるカリキュラム検討委員会において調査中である。
達成年度（予定を含む）
平成 27 年度

改善事項
学部生のリーダーシップ
改善計画
開講されている科目全体で、より強くリーダーシップが発揮できるよう、指導を強化していく。リーダーシップのあり方はさまざまなので、特定の科目でリーダーシップを涵養できるわけでない。一人一人の学生にあった形で、特に 3、4 年次の科目において、リーダーシップ涵養を意識した授業設計を取り入れる。
実施時期（予定を含む）：平成 28 年度カリキュラム
改善状況
企画室（教育担当）での、学科改組を含む農学部全般の教育カリキュラム見直しの中で、

リーダーシップ涵養を意識した授業設計についても議論している。
達成年度（予定を含む）
平成27年度

改善事項
進路支援
改善計画
現在行っている進路支援に対する活動をさらに強化していく。また、就職支援状況について、保護者に対して定期的に情報発信をする。
実施時期（予定を含む）：平成25年度から可能な範囲で実施
改善状況
学部の就職戦略室主催の就職セミナーや企業説明会の回数を増やし、就職支援を強化した。就職率も向上した。改善済み。
達成年度（予定を含む）
平成26年度

改善事項
教職員との相談体制
改善計画
保護者と教職員が何らかの形で情報交換する手法を考える。また、就職支援状況について、保護者に対して定期的に情報発信をする。
実施時期（予定を含む）：平成25年度から実施可能な範囲で取り組む
改善状況
大学祭の際に保護者との情報交換会を実施している。今後も可能な範囲で機会を増やす。
達成年度（予定を含む）
平成28年度